



小学1年生から英語を取り入れる 小中一貫の英語教育

全国では、平成32年度次期学習指導要領から小学校5・6年生の授業に2時間の英語科を取り入れることになっているが、本市では、平成16年度より小学校1年生から英語の授業を取り入れている。小学校には外国語指導助手(ALT)と日本人英語教師(JTE)を、中学校にはALTを配置し、生きた英語に触れる環境を整えている。また、市内すべての小学校5・6年生を対象に児童英検の検定料を全額補助、中学校全学年を対象に英検の検定料半額補助(年3回)を実施。



沖縄の未来をつくる若者たちを応援 中学生を海外へ

国際的視野の育成やコミュニケーション能力の向上を図ることなどを目的に実施される『中学校短期海外留学派遣事業』は、一人あたりの留学費用の半額(約30万円)を市が負担し、市中学生英語ストーリーコンテスト上位4名と学校・教育委員会推薦の計10名を毎年派遣、12年間で延べ119名を海外へ派遣している。帰国した学生からは「外国の方との交流を深めることで積極性が増し、学校生活も意欲的になった」「英語でコミュニケーションをとることに自信が繋がった」等の感想があがっている。



将来の夢は国際的に活躍できる人 私を変えた海外体験

英語に興味をもったきっかけは

小学6年生から学習塾で勉強を始めた。身の回りに使われている英語の意味を知っていくにつれて楽しくなり、通訳の人がかっこよく思えて、自分もしゃべれるようになりたいと思った。3年生の時に留学に挑戦しようと思った。

留学先では

アメリカ人の生活リズムに合わず事に苦労したが、一緒に行った先生に相談することができ、楽しく過ごすことができた。

留学で変わったことは？

宜野湾市は、外国人も多いため、その人

たちの話も聞いてみたいな、聞き取れるかなと意識するようになった。また、留学したことでさらに英語が好きになった。将来の夢は国際的に活躍できる人になりたい。

来年留学に行く人たちにメッセージ

アメリカ人の生活リズムに合わず事に苦労したが、自分から楽しもう、学ぼうと言う気持ちがあれば本当に楽しい事業だと思うので、留学を心から楽しんでほしい。一緒に行ったメンバーとは留学が終わった現在も連絡を取り合っていて交流しているので、一緒に行く仲間とも交流を深めてほしい。



嘉数中学校3年
城間 ルミカさん

今年度の中学校短期海外留学派遣事業にて約1ヵ月間、アメリカのシアトルへ留学をしている。

留学で 新しい自分に出会う

市中学校短期海外留学派遣事業で
未来を切り開く若者へ話を聞きました

英語を話すことと、 アメリカの文化について学びたい

英語に興味を持ったきっかけは？

4つ上の兄が英語ストーリーコンテストで優勝してかっこいいと思い、小学6年生の時から英語を勉強し始めた。

今回、英語ストーリーコンテストで1位となった感想は

とても嬉しかった。練習は、放課後毎日、ALT(外国語指導助手)の先生と一緒にいき、発音などを学んだ。

尊敬する人は

同学年の子。ALTの先生と英語で流暢に会話をしているのを見て、すごく憧れている。

英検の検定料補助について

補助があることによって受験しやすいので、補助制度を今後も続けてほしい。父の勧めで英検を受け始め、現在4級を取得した。

次年度留学へ行く意気込みは

すぐに行きたいと思った。コミュニケーションを上手にとれるか不安はあるが、英語を話すことと、アメリカの文化について学びたい。今年留学に行った方からメッセージがあったので、留学を心から楽しみたい。



宜野湾中学校2年
仲里 瑠称さん

今年10月に行われた中学生英語ストーリーコンテストにて、2年生の部優勝。次年度、中学校短期海外留学派遣事業にて留学予定。

あなたの寄付が 子どもたちの未来をつくる



ふるさと納税プロジェクト 支援募集中!!

～ガバメントクラウドファンディング～

市内中学生を対象とした短期海外留学派遣事業を実施していますが、一部自己負担があるために過去に留学をあきらめるケースもあり、市内全ての中学生に平等に留学へのチャンスが与えられているとは言えませんでした。そこで「ガバメントクラウドファンディング」を活用したふるさと納税により、市内や県内外、全国の皆さまからの寄付を募ることになりました。

寄付による支援を通じて自己負担ゼロが実現されることにより、市内全ての中学生に経済的負担がなく、平等に海外留学のチャンスを与えることができます。

ぜひとも皆さまのお大切なご寄付を、基地跡地の未来を担う子どもたちの留学費用とさせていただきますようお願いいたします。

本事業について
詳しくはこちら▶



問合せ 指導課 ☎892-8289

